

### 地方独立行政法人広島市立病院機構 安佐市民病院広報誌 -第51号-

〒731-0293 広島市安佐北区可部南二丁目 1-1
TEL: 082-815-5211(代)

http://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp

## 副院長・医療支援センター長 就任の挨拶と抱負



平成28年4月に副院長に就任した向田秀則です。私が当院に外科医師として赴任し19年が経過し、外科の中では平林院長に次ぐ古株となりました。赴任当初に比べますと、新規に入院される患者さんも、手術を受ける患者さんも約2倍になりました。今後はご高齢の人口が急増する2025年問題もあり、病院の機能分化が求められる厳しい時代に突入します。当院は、これからも地域の皆様に選んでいただける病院を目指していきます。

- さて私が副院長として担う役割は、
- 1. 地域の医療機関とのスムースな連携の推進 2. 地域がん拠点病院としてのがん診療の推進
- 3. 勤務医の負担軽減の推進 4. 確実で安全な医療の提供のためのクリニカルパス推進 の4つです。

### 地域の医療機関とのスムースな連携の推進

副院長・医療支援センター長 医療の高度化・専門化に伴い、満足いく医療を一つの病院で提供することは難しくなっています。しかし、この地**向田 秀則** 域の医療機関、介護施設と緊密な連携を図り、切れ目のない医療を継続することで、ご高齢の方々が医療や介護が必要となってもこの地域で生活していくことは可能です。当院で、この地域連携を進めるのが医療支援センターで、この度、この医療支援センターを担当することになりました。このセンターには地域医療連携室だけではなく、がん相談支援センター、総合相談室があります。患者さんの入院から退院、退院後の生活のケアを切れ目なく行うとともに、病気や治療に対する質問や相談について専門の相談員がきめ細かに対応して

人院から退院、退院後の生活のケアを切れ自なく行うとともに、病気や治療に対する質問や相談について専門の相談員かざめ細かに対応しています。また、4月からは入院患者さんへの入院・パス説明、検査のスケジュール管理などを集中して行う入院支援センターを開設いたしました。 地域の皆様と一緒に、『共にこの地域の医療を守る』という気持ちで、さらなる機能強化を推進していく予定です。

### 地域がん拠点病院としてのがん診療の推進

当院は2010年に地域がん診療連携拠点病院に指定されました。昨年は14,405名の新しい入院患者さんのうち、がん入院患者数は3,727人、悪性腫瘍治療については、手術件数1,183件、抗がん剤治療件数8,686件、放射線治療件数7,075件と、非常に多くのがん患者さんに高度な治療を行っています。また、本年1月からは緩和ケア内科医として岡部智行医師が着任し、緩和ケアチームもさらに充実し、個々の患者さんの精神的、身体的痛みに早期に対応できるようになりました。今後も患者さんの希望と全身状態に応じた治療を提供できるよう診療を推進していきます。また、当院での治療成績については皆様にわかりやすく発信したいと考えています。

### 勤務医の負担軽減の推進

病院勤務医の事務作業負担軽減のために、医師の事務仕事をサポートし、医療の質の向上に貢献するスペシャリストとして医療事務作業補助者(医療クラーク)を2009年から採用しました。現在は21名の医療クラークが、皆様の診断書作成、データベースへの入力、外来での診療補助など、医師が行っていた事務作業を行っています。しかし、まだまだマンパワー不足ですから、今後もクラークの採用を増やし人数を確保し、医師はできる限り患者さんの診療に全力で当たれるように体制を整える予定です。

### 確実で安全な医療の提供のためのクリニカルパス推進

クリニカルパスとは、検査や治療の予定とタイムスケジュールを示した治療計画表で、現在では200種類を超える院内パスが稼働しています。 入院患者さんの50%以上に、これらのパスが適応していますが、今後はさらに確実で安全な医療の提供を目指しパスを改定していく予定です。 また、地域連携クリニカルパスも、地域の医療機関と情報を共有しながら連携を密にするために、今後より一層重要になると考えられます。 当院では、がん地域連携パス(胃がん、大腸がん、肺がん、前立腺がん、肝がん、乳がん)、脳卒中パス、認知症地域連携パス、在宅緩和ケア地域連携パスを整備しております。ただ、ご高齢の方は医療ケアと介護ケアの両者を循環することが多いため、医療に関する地域連携パスだけではなく、介護施設などとの連携が図れる地域包括ケアパスも必要となると予測しています。

以上の4点について抱負を述べました。頑張りますのでよろしくお願致します。

### 【病院機能評価】



理

### 安佐市民病院の理念と基本方針

念・愛と誠の精神をもって医療を提供します。

・地域の基幹病院として高度の医療・ケアを行います。

基本方針 1. 患者さまの立場を尊重し、理解と納得 にもとづいた医療を行います。 2. 安全な医療と快適な療養環境の提供に努めます。

- 3. 地域と連携し、地域医療、救急医療、トータルケアの水準の向上に努めます。
- 4. 最新の医療にとりくみ、医療・医学の進歩に貢献します。
- 5. より良い医療サービス提供のため、健全な病院運営に努めます。

# 高血圧症について

### 血圧って何?

血液が心臓から出て、血管の中を通るときの圧力のことであり、その単位はmmHg (水銀柱)です。



### 高血圧の定義と原因

	収縮期血圧		拡張期血圧	
診察室血圧	≥140	かつ/または	≥90	
家庭血圧	≥135	かつ/または	≥85	

文字通り血圧が高いことを指し、上記の正常値を超えるものを高血圧状態と言います。

### 高血圧症は日本で最も多い病名

高齢者の3人に2人、総計では約4,000万人が罹患あるいは予備軍と考えられ、国民病と言われる所以です。また感染症を除くと、死亡に関与する危険因子の中では2番目に位置します(1番はタバコ)。ちなみに安佐市民病院の心筋梗塞患者さんの8割は高血圧症です。

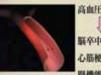
### 予防は?

生活習慣改善とは具体的に**運動、減量、減塩**の3本柱です。日本人の塩分摂取量は11-14gですが、目標値は6gであり、ラーメンを最後の汁まで飲むと1日必要量の半分を摂取することになります。

### 何故、命に関わるの?

高血圧そのものは自覚症状がなく、サイレントキラーと呼ばれます。 血管内の圧が高いと、動脈壁が硬くなり、血管病、 心臓病、脳卒中の原因となります。

### -人は血管から老いる-



高血圧サイレントキラー 顕卒中が4倍 心筋梗塞が3倍 野機能障害が2倍

### 消循環器內科主任部長 **佐々木 正太**

## 治療は?

生活環境、習慣の改善を行っても血圧低下しない場合 には、お薬での治療となります。主な降圧薬には以下が あり、それぞれの特徴にあわせて内服します。

名称	効果
カルシウム拮抗剤	細胞間を弛めて血管を拡げる
アンジオテンシン阻害剤	昇圧ホルモンの血管作用を弱める
利尿剤	腎臓、尿より塩分を排出する
β遮断剤	交感神経の興奮作用を弱める

### 最後に

血圧を4mmHg下げると、日本全体で脳卒中が1万人、 心筋梗塞が5,000人減ると言われています。現代人に とって血圧上昇=高血圧症は最もありふれた病気のひ とつです。自覚症状はなく、合併症が出てからでは遅い ため、早めの予防と治療を心がけましょう。

### おまけ



- キリンは体高5mで心臓と頭が 2メートル近く離れている。
- ➤ 血液を巡らせるには強烈な血圧をも つ必要がある。
  - キリンの最高血圧260mmHg、最低 血圧が160mmHgである。
- ▶ 水のみで頭をさげると300mmHg

# 初期院床研修医(2年目)

広島大学病院とのたすき掛けで安佐市民病院 で研修しています。

よろしくお願いいたします。



<mark>脇本 旭</mark> (わきもと あさひ)



板倉 文乃 (いたくら あやの)

# **泰の病気の予防と**流

年齢を問わず膝を痛めると歩行やスポーツに支障を来し、充実した日常生活を 送ることが困難となります。今回は、当院でも多くの方が通院治療や手術加療を 受けられている変形性膝関節症について解説します。

整形外科部長 西森 誠



中高齢者を悩ませている膝痛の原因の多くは、**変形性膝関節症**によるものです。**変形性膝関節症**では、イスからの

立ち上がり、歩き始め、階段をおりる時(図1)などに膝痛を生じます。中高年の女性 に多く発症し、加齢とともにみられやすくなり、日本人の患者数は約1,000万人、有病 者数は約3.000万人と言われています。

初期の症状は動作開始時の膝痛ですが、徐々に正座や階段昇降が困難になり、 だんだんと膝は伸びなくなり、歩行が困難となってきます。

原因は、膝の荷重を支えるクッションの役割である関節軟骨が、年齢とともに弾力 性を失い、摩耗し、すり減っていくことによります。

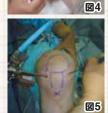
日常生活上の注意点・予防法としては、①正座をさける ②肥満であれば減量する(図2) ③膝をクーラーなどで冷やさず、温めて血行を良くする ④重い荷物を持たない ⑤生活様式を洋式にする(洋式トイレ、ベッド、イスなどを使用する) ⑥ウォーキング をする、などが挙げられます。



変形性膝関節症の治療方法には保存療法と手術療法があります。保存療法は、リハビリ指導 (図3)、薬や注射(図4)、装具療法などを行います。変形は退行性変化によるものであるため、 元に戻ることはありません。症状を緩和させ、できるだけ病状が進行しないことを目的に行います。 病期が進行し、症状が悪化してしまった場合は手術療法を行います。手術療法としては、①関 節鏡視下手術 (図5):損傷した半月板や軟骨片など、ひっかかりや疼痛の原因を内視鏡下に取り 除く手術 ②高位脛骨骨切り術:脛骨を骨切りし、荷重軸を変更する手術 ③人工膝関節置換 術(全置換、部分置換(図6)):変形した膝の表面を削って人工の関節に置き換える手術、など があり、患者さん各々の年齢や活動性、症状や変形の程度などを熟考し、手術方法を選択します。

当科ではこれまで多くの膝痛に悩む患者さんの治療を行い、より充実した生活への復帰を サポートしてきました。膝に関する痛みやお悩みがありましたら、お早めにかかりつけ医にご相談 ください。

いずれも専門性の高い手術ですので、膝関節専門のトレーニングを受けた専門医に受けられる





#### (5 実行委員会委員長(病院長) 平林 直樹

地域の皆さまには、日頃から安佐市民病院の運営に多大なご協力をいただき、ありがとうございます。

安佐市民病院では、地域に開かれた病院として、また、地域から愛される病院となるため、毎年「健康祭り」を開催 しております。地域の皆さまに健康について考えていただき、健康増進に向けた取組みを実践していただきたいとの 思いで開催してまいりました。

本年も、多くの関係者のご協力のもと、下記のとおり開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

 $\Box$ 

ことをお勧めします。

平成28年10月29日(土) 10時~14時 安佐市民病院1階ロビー等、2階WAPセンター、南側駐車場の一部

2 場 所 3 催し内容

- ●健康チェックコーナー、よろず相談、体験コーナーほか
- ●演奏会、安佐北寄席、健康体操、健康ウォーキングほか
- ●パトカー・救急車展示、飲食物・新鮮野菜販売、フリーマーケットほか

# 「ふれあい看護体験2016」について

看護部では、毎年「看護の日」行事の一環として、「ふれあい看護体験」を実施しています。 これは、市民のために医療施設がドアを開き見学や簡単な看護体験、関係者との交流などを 行うイベントです。参加者は高校生や主婦の方など広い層にわたっています。

今年は7月22日(金)に開催し、高校生15名(男子2名を含む)、社会人4名の参加がありま した。体験では車椅子での移動や血圧測定を実際に行ったり、看護師の普段の生活や夜間 勤務、認定看護師・助産師の仕事についてのDVDを視聴して頂きました。また実際の看護現 場の見学や患者さんとの会話など体験していただきました。参加者の皆さんからは、「看護 師になりたいという思いが強くなった」「患者さんとの接し方・声のかけ方が勉強になった」 「改めてハードな仕事だなと思った」など、たくさんの感想をいただきました。

今回の経験が看護の理解を深めることに繋がり、更に看護師になりたいという気持ちを 高めることができれば嬉しく思います。そして、当院が将来就職先の選択肢の一つに繋がることを期待しています。

教育担当看護師長 野村 弘美



# **♪糖尿病患者さんを支援します**。

今年度から「糖尿病看護認定看護師」の資格を持ち勤務させていただくこ とになりました、看護師の山﨑優介といいます。糖尿病看護認定看護師には、糖 尿病について専門的に勉強し、その知識を活かし糖尿病患者さんの療養を支 援していくという役割があります。普段は病棟で勤務し、糖尿病教育のために 入院された患者さんと関わっていますが、外来でも、時々療養相談やフットケア を行っています。

糖尿病は治る病気ではなく、ずっと付き合っていかなければならない病気 です。そして、食事療法や運動療法、内服薬やインスリンといった薬物療法を

優介 糖尿病看護認定看護師 山崎



続けていかなければなりません。それらの療養を続けていくことは決して楽なことではなく、嫌になったり、悩んだり、くじけたりするこ ともたくさんあると思います。私が目指しているのは、患者さんが何でも気軽に話ができる安心できる場所を提供することです。患者 さんの思いに寄り添い、一緒に悩み考え、患者さんが自分らしく生活できることを支援していくことを大切にしています。これからも 頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

# 状をお持ちになってご来院を

健康保険法等の改正により、一般病床500床以上の地域医療支援病 院は、紹介状をお持ちでない患者さんに、保険診療分とは別に選定療養 費を求めることになりました。

安佐市民病院では、初診・再診の時に、次のとおりお支払いいただきます。

#### ※初診とは

- ●当院に初めて受診
- ●当院に医科受診されている方が、歯科を初めて受診
- 当院に歯科受診されている方が、医科を初めて受診
- 当院に受診歴のある方が、治療期間が終了した後に再び受診
- ●患者さんが任意に治療を中止し、改めて受診

初めて受診される時や久しぶりに安佐市民病院を受診される時に は、かかりつけ医より当院地域医療連携室を通して受診予約をしていた だき、紹介状をお持ちになってご来院ください。

医事課主查 中川 貴子

初診の時:非紹介患者加算初診料	医科	歯科	
初診で他の医療機関からの紹介状			
なしに受診される時(緊急などやむ	E 400m	2 2 4 0 111	
を得ない時や国の公費負担医療制	5,400円	3,240円	
度の受給対象者などを除く)			

再診の時:再診患者加算料	医科	歯科
病状が落ち着くなどし、他の医療機	2,700円	1,620円
関への紹介を申し出たにもかかわ		
らず、引き続き受診される時に受診		
の都度毎回		

# 病棟退院支援職員としての活動をご紹介します

医療相談室主任看護師 長屋 由起子

皆さんは、「地域包括ケアシステム」といった言葉をご存じでしょうか?

現在盛んに言われている「地域包括ケアシステム」とは、「地域の実情に応じて、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に提供される体制」を言います。

この「地域包括ケアシステム」には当院のような急性期病院も大きく関係しています。現在、殆どの治療が外来で行われる時代、又入院したとしても入院期間が短くなっている時代です。急性期病院では、患者さんを今までのように「病人」として考えるのではなく、「病気や障害がありながらも、住み慣れた地域へ帰って生活していく人」として考え、病気を抱えながらも、自分自身の持っている力を最大限に引き出し、これからどう生きていくか、どこで誰とどう過ごすか・・といったことを、患者さん、ご家族と一緒に考えていく必要があります。

安佐市民病院では、入院当初から安心して地域で過ごすための相談ができるよう、この4月から各病棟へ専任で退院支援職員を配置しました。入院と同時に、病状や心配なこと、気がかりなこと、お困りごと、今後の生活を含めた様々な相談に対応する職員で、専任の看護師やソーシャルワーカーが病棟で活動しています。そのため、入院の初日から、必要な時は面談させていただくことも多くあります。色々なことを伺い、主治医や病棟看護師としっかり連絡を取り、情報を交換し合い、皆で話し合いの場を持っています。かかりつけ医の先生やケアマネジャーさん、訪問看護師さんや薬剤師さんなどとも連絡をこまめにとりあうことで、地域でも安心して生活を続けていただけるネットワーク作りをしています。

このように、早くから患者さんやご家族と面談させて頂くことで、「安心できた」「相談できるところがあってよかった」など、笑顔で言われる方が増えています。

今後も、安楽に、安全に、安心して過ごせる生活を築けるよう活動して参りますので、入院の際にはお気軽に声をかけてください。

**500** 

### 第8回

### がん診療連携拠点病院共催市民講演会開催のご案内

広島市内にある5つのがん診療 連携拠点病院(広島大学病院、県 立広島病院、広島赤十字・原爆病 院、広島市立広島市民病院、広島市 立安佐市民病院) 共催の市民講演 会が10月30日(日)に開催されま す。テーマは「知ろう学ぼうがん と心のケア ~伝えていますか?あ なたの気持ち~」です。がんによる ストレスや不安、落ち込みの症状な 、心のケアの必要性やその対策 について、国立がん研究センター中 央病院 支持療法開発部門長の内 富庸介氏、県立広島病院 臨床心理 士の安食美葵氏、広島赤十字・原爆 病院 緩和ケア認定看護師の田村 直美氏より講演頂きます。



第8回かん計画

to he

触ろうの単語う

第3回 ● 在宅緩和ケア市民講演会開催のご案内

平成28年11月5日(土)、安佐北区民文化センターにて第3回在宅緩和ケア市民講演会を開催いたします。講師は、広島市中区の在宅支援診療所「あかりホームケアクリニック」院長 古谷 和久先生です。市民の皆さまにがん治療における緩和ケアについて知って頂くこと、そして緩和ケアが皆さまの地域や自宅でうけられることを分かりやすく講義して頂きます。オープニングは梶矢神楽団による神楽上演をいたしますので、皆さまの多くのご参加をお待ちしております。



皆さまの多くのご参加をお待ちしています。

# REDUTIONS IESUNDATION OF THE PROPERTY OF THE P

一薬剤師、放射線技師、臨床検査技師編一

前号に引き続き、職員のピンバッジをご紹介します。今回は薬剤師、放射線技師、臨床検査技師のバッジをご紹介します。

日本臨床腫瘍薬学会が認定 する薬剤師で、通院で抗がん 剤治療を受ける患者さんを サポートする専門技能をもつ 薬剤師です。



全国に約800人しかいません。

医学物理士認定機構の試

験に合格した放射線技師で

す。がん患者さんに対する治

療装置の精度と操作を監督

する資格で、

救急診療において、安定して 最適な画像情報を提供し、 かつ安全性を担保する知識 技術を持った認定技師です。



医師の指示のもと、鼻やのどからの綿棒などでの検体を採取することができる検査技師で、厚生労働省の指定講習会を修了した者がつけています。



糖尿病全般に関する正しい 知識を持ち、豊富な臨床経験 を有し試験に合格した医療 スタッフがつけています。



薬剤師研修センターが認定する薬剤師で、時代に即応した薬学的ケアを行うため、自己研鑚を達成した薬剤師がつけています。



日本放射線治療専門技師認 定機構が放射線治療に高い 専門性を持つと認めた診療 放射線技師です。



医療情報認定技師とは、医療情報を安全かつ有効に活用・提供することができる知識を持った認定資格です。



試験に合格した検査技師で、 心電図の基礎知識、記録技 術、判読技術、報告まですべ で直任をもって検査し、心

疾患診療に 精通した者 がつけてい ます。



医療情報技師の資格をもつ 検査技師です。医療情報システムの運用に関わること で、スムーズな診察・検査、 診断、ケア をサポート しています。



## 自治体立優良病院表彰の受賞について 事務長 高本 彰彦

 地域医療の確保に重要な役割を果たし、経営が健全な「自治体立優良病院」として、 安佐市民病院は、今年6月に全国自治体病院開設者協議会及び全国自治体病院協議会から表彰を受けました。過去5年間の経常損益が毎年黒字であるなど、経営努力の成果 や地域医療の確保への取組みが認められたものであり、東京都内で開かれた総会の表彰式には当院から平林病院長が出席し、両会長から表彰状と記念の楯が贈られました。 今年度は、全国で当院を含む12の病院が表彰されました。





これも一重に、当院の運営に対する患者さん、地域の先生方のご理解とご協力、さらには当院職員の不断の努力の賜物と改めて感謝申し上げる次第です。これを一つのステップにして、これからも職員が一丸となって安全な医療、快適な療養環境の提供に努めるとともに、地域の先生方との緊密な連携のもと、地域医療、救急医療の水準の向上などに取り組んでまいります。

現在、安佐市民病院の建替えに向けた作業が着々と進められており、基本計画の取りまとめが大詰めの段階を迎えています。また、現在地に整備する病院等につきましては、引き続き、安佐医師会の先生方と協議・調整を図りながら進めてまいりますので、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

# 社会貢献自動販売機の設置について

総務課主事 岡本 侑也

この度、南館1階の中央階段付近と患者サロンの前に自動販売機2台を設置いたしました。この自動販売機は、売上の一部を公益財団法人ひろしまドナーバンクへ寄付する社会貢献自動販売機となっております。この機会に、是非ご利用していただければと思います。



中央階段付近

# 金銭の数1何を食べるかな?

秋は美味しい食べ物が盛りだくさんの季節です。食材はいろいろありますが、秋なので今回はきのこを使ったオムライスを紹介します。塩分制限がある方でも、塩分を控えて作っていますのでお試しください。

### ふわふわきのこオムライス

10g

10g

4g

適量

30g 4g

80g

15cc

15g

5g

5cc

**材料** ご飯

しいたけ

舞茸

しめじ

玉ねぎ

えりんぎ

サラダ油

こしょう

ケチャップ

サラダ油

卵 (1個半)

ケチャップ

マーガリン

牛乳

水

٥

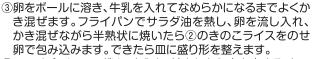
卵

#### 

②フライパンに油をひき、きのこと 玉ねぎを入れ炒めます。火が通っ たら、こしょう、ケチャップをいれ

具材と炒め合わせ、更に温かいご飯を加え、ほぐしながら手 早く炒め合わせます。できたらバットなどに移しておきます。

※1 人当たり:555kcal / 塩分1.89g



④フライパンにマーガリンを入れ、溶かしたら火を止める。トマトケチャップ、水を加えて混ぜ合わせソースを作り、できたらオムライスにかけてできあがり。付け合わせはお好みで! 栄養室栄養士 中元 久美子

### 患者の権利

広島市立安佐市民病院は、患者の権利に関する「リスポン宣言」を擁護 し、患者の最善の利益のために安全で質の高い医療を目指します。

### 1. 良質の医療を受ける権利

良質で適切な医療を公平に受ける権利があります。

#### 2. 情報を知る権利

ご自身の病状や治療等に関して十分な説明と情報を得る権利があります。

#### 3. 自己決定の権利

ご自身の健康状態について十分な説明を受け、ご自身の自由な意思 で検査や治療方法を選ぶ権利があります。

### 4. 選択の自由の権利

病院あるいは保健サービス施設等を自由に選択し、変更する権利があります。

セカンド・オピニオン(別の医師の意見を求める権利)を求める権利 があります。

#### 5. 健康教育を受ける権利

健康的なライフスタイルや、疾病の予防および早期発見等に関する情報を与えられた上で自己選択(インフォームド・チョイス)できる権利があります。

### 6. 個人情報・プライバシーが守られる権利

医療従事者が医療上知り得た個人情報は保護され、プライバシーが 守られる権利があります。

#### 7. 尊厳が守られる権利

個人として尊重され、尊厳を保ち安楽に終末期を迎えるための、あらゆる可能な支援を受ける権利があります。

### お願い

当院で安全で質の高い医療・看護が適切に受けられるためご協力をお願いします。

- ・ご自身の健康に関する情報をできる限り正確に伝え、医療従事者と共同して診療に参加してください。
- ・快適な療養環境の維持に協力をお願いします。
- ・医療安全の実践に協力をお願いします。
- ・病院の規則を守ってください。
- ・他の患者の療養に支障を与えないように配慮をお願いします。
- ・医療人の育成に協力をお願いします。
- 現在考えられる安全な臨床医学の範囲を超える要求には応じられないことをご承知ください。

